

磐城時報

福島縣磐城郡平町編組町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 加納活版所
福島縣磐城郡平町編組町十五
發行所 磐城時報社
一部金貳圓 一月金貳拾圓
廣告料一行十四字 金五圓
日刊 (日曜) 祭日 休刊

町會開會に先立ち

吳越同舟の協議會

町治を平穩に解決したい

平町水道擴張工事起債反對問題、午前十一時から南町大和家に集電燈値下げに關する問題、等一対策を協議して町會に臨んだ。一般町民から注目されてゐた事件が、一般町會議員の意圖としては、論議されるものと見られる。平町會は三十日午後一時から開かれたが、之れより先き水道擴張工事起債反對で同一行動を共にした野崎、馬目(雅)永山、柳下佐藤、武田の六町議は午前十時から野崎滿藏氏宅に集り對策をいふ事になり、電燈値下げ問題協議し、一方前記六名の町議を題等は委員を設けて調査する方除いた二十四名の町議は疑雲に針をさす事になるらしく、豫期蔽はれてゐる平町會を廓清しやせられてゐたやうな大混亂は見うとして政黨を超越した態度でざるものゝ如くである。

完全無欠を期して

調製を急ぐ選挙名簿

町議選挙の失敗に鑑み

平町では來月一日告示をなし同自ら手傳つて居る始末で去る二月五日から十五日間縦覧を許す十日まで縣に報告すべき筈の概べき九月十五日現在による衆議院議員選挙名簿もあがられて居ない、勿論來院並に縣會議員選挙八名調製を月一日の告示を行ふまでは決急いで居るが、有資格者か無資格者か、締切日が僅格か更に調査を要すべき者が無一二日に迫つて居る今日目鼻が數にあり全く目鼻がつかず今明つて居ないところから見るに、日ではとても片付きさうもない名簿調製は容易の業ではないに、來月三日から縣内各預金者を一日百名位づつ、何れも百十六圓

平署管内

傳染病状況

平警察署では昨年の悪疫大流行に慄え切つて今年管内各町村その他各町村共最少一名から七と共力してこの流行豫防に努め八名宛の患者を出してゐるが、何て來た結果(十月二十七日現在)も前年に半減してゐる。

先づ縣外預金者から

整理案の承認を求む

開業を急ぐ磐城銀行

磐城銀行では一般預金者から整理以上の預金者を集める筈である。理案の承認を求むるに當り群集が平町の預金者の態度如何が心理の動きを恐れて預金者會を注目されてゐる。開かず行員及重役が戸別訪問をなして調印を求めの方針であつたが銀行側が一般の標準となるものと思つてゐた公金預金關係筋が纏まりさうがないので最初

石城在米高

一萬石

平穀物検査所の調査によると十月一日現在の石城郡在米高は一萬石で昨年比で四、千六百六十五石の減少である、之れは米が安かつたため一般で賣り急いだ結果である。

平青年團幹部會

青年團の幹部會は二十九日午後七時から藤田女學校に開き左記事項を協議した。
▲團報發行に關する件 ▲講演會開催の件

福清の藝妓玉香

自由廢業を願ひ出づ

千二百圓の前借は拂はれぬ

平町新田町福清専橋清吉方抱共同經營を計るべく組合員五十名、玉香は千二百圓の前借金があるが、同人は藝が出来ないため藝以外の努力で玉を稼がねばならず、身体が弱いため努力が容易でなく到底千二百圓は拂へ切れぬから廢業したい。

毒藥自殺

妻に逃げられ

手附金を

石城郡好間村大字下好間字大館屠殺業長谷川千代松(二三)は生れつき片手がない不具者であるが、過般結婚した處妻に嫌はれ、妻は實家に戻つてしまつたので、悲觀し二十九日午後十時頃自宅八疊の間で猫イラズを服用自殺を遂げた。

横領して豪遊

手附金を

本月二十三日夜頃より石城郡植田町各料理店に豪遊を極める者あり不況の昨今警察當局は不審の眼に捜査の結果同郡上遠野村深山小園井清(二二)と判明し、同人はプロカールの手附金横領で引致取調中であるが、同人の取調と共に藝者の淫賣その他に拘留處分を受ける者續出して植田花柳界は相當騒がれてゐる。

免囚保護宣傳

平自營會は石城郡佛教慈善會と聯合し釋放者の保護宣傳のため廿日午後五時から平町聚樂館を

共同精米所

錦村で

免囚保護宣傳

石城郡錦村江栗、鬼越下、鈴鹿三名の減少である。

